

# ほっと通信

## しめくくりの時期ですね



2月に入り、そろそろ1年のしめくくり、そして新しい年度への準備が始まる時期となりました。

今年度、特別支援教育担当の巡回相談は12月末現在で約400回となりました。例年に比べると小学校への訪問が減少しています。小学校全校にスクールカウンセラーが

配置されたことの影響もあるものと思いますが、校内でお子さんについての情報を共有したり、できそうな支援を検討し、行なってみたり、というステップを大切にしてくださるケースが増えていることの表れでもあるのではないかと考えています。日々お子さんに接している先生方が積み上げてきたものが新しい学年や進学先によいかたちでつなげられるよう、必要な資料作成を始め、申し送りなど、学校の実態に合わせた工夫をしていただけるとありがたいと思います。

今回のほっと通信は『学級づくり』がテーマです

4月が「学級づくりにとって、とても大切な時期」であることはご承知の通りです。

次頁の「学級づくりのヒント」は、東京都教育委員会の研究推進団体にもなっている「東京コーディネーター研究会」作成の『通常の学級における学級・授業づくりの124のヒント、校内支援体制の気づきのシート』という冊子から引用したものです。これから1年間の学級づくりに向けてのヒントとしてチェックをしてみてください。何か気づくことがあるのではないかと考えています。

冊子の中でも、「気づきがあればあるほど、クラス、学校の子どもたちに還元していくことができるシートです。」とっています。4月からの学級づくりに役立ててもらえれば嬉しいです。

# 学級づくりのヒント

時間があるときにでも  
ちょっと振り返ってみませんか？

項目 (ヒント)		
温かな受けとめ	安心・意欲	① 出迎えを笑顔で迎えている。 ② 「おはよう」「さようなら」と言葉かけをしている。
	情緒の安定	① 親しく言葉かけができるようにしている。 (興味・関心・身近な出来事など情報収集)
		② 冗談が言える。雑談ができています。
		③ 失敗や相談を言いやすくしている。(忘れたなど)
		④ 明るい、柔らかな口調で話しかけている。
		⑤ 子どもたちの声に耳を傾けている。(日記など)
⑥ 教師自身の感情に左右されて子どもたちとかわかっていない。		
集中できる環境	学習環境の整備	① 前面黑板や周辺の掲示物を減らし、集中しやすくしている。
		② 掃除がきちんとできている。
		③ 机の位置や向きを整えている。
		④ 余計なものは片づけてある。隠れている。
		⑤ ロッカーの上、教師の机上が片づいている。
		⑥ 掲示物の大きさ、位置を考えて工夫している。
		⑦ 気になる音の発生源に配慮している。(窓・扉の開閉・水槽)
	個別の環境整備	① 本人の集中しやすい座席位置にしている。
		② 周りの子どもに配慮している。
		③ 教師や安心できる友達を近くにしている。 ④ 集中を妨げそうな物は片づけている。
参加しやすさ	見通し	① 月や週の学習予定をプリント・掲示で知らせている。 ② 朝、1日の予定を話したり掲示したりして確認している。
		準備・整理
	② 特別に必要な学習用具は早めに伝えている。	
	③ 忘れ物がある場合の援助の求め方、貸し方を決めている。	
	④ ロッカーの使い方、プリントの置き場所が一定している。	
	⑤ 配布物はその場でファイリングさせている。	
	⑥ 子どもに合った学習道具を使わせている。	
	⑦ 保護者と連絡を密にして忘れ物を減らしている。	

共に育つ学級の雰囲気	言語環境	① 「さん」「くん」で呼び合っている。
		② 挨拶、返事を必ずするようにしている。
		③ ていねいな言葉づかいで話すようにしている。(です・ます)
		④ 言葉の強弱、トーンで気づかせるようにしている。
		⑤ 相手に快い言い方を常に教えている。
		⑥ 「ドンマイ」「大丈夫」などほかほか言葉を奨励している。
	仲間意識	① 「チームワーク」や「みんなで」を意識する場づくりや言葉かけをしている。
		② 励ましや助け合いを評価している。
		③ 日常からそれぞれの長所や個性を生かす視点を示している。
		④ からかい・中傷などには毅然とした態度で臨み、よい言動に置き換えて示している。
⑤ 一緒に楽しめて遊べる場面をつくっている。		
⑥ 成功体験を積み重ねている。		
ルール	① 納得できるルールづくりをしている。	
	② ルールを守っている子や場面を認め、多様な形で称賛している。	
	③ シールやがんばり表など見える形で評価している。	
	④ 望ましいモデルをほめることで間接的に注意を促している。	
	⑤ 気を引くような行動には、反応しないようにしている。	
	⑥ 「注意は先生がすること」を徹底させている。	
	⑦ 全体の場での叱責はできるだけ避けている。	
	⑧ 特例にするときは、理由を明らかにしている。	
	⑨ クラスみんなでできまりやルールを考え、取り組む活動がある。	
	⑩ 日常的にルールをふりかえる機会を設けている。	
担任の姿勢	連携	① 指導の難しさを感じた場合に、援助を求めている。
		② 問題をオープンにし、抱え込まないようにしている。
		③ TTや補助の先生に、指導のねらいをはっきり伝え、打ち合わせをしている。
		④ 子どもの様子、指導の反省等の記録を取って活用している。
		⑤ 「全校の子ども」という認識で協力し合っている。
		⑥ 校内・校外・保護者と相談しようとしている。
		⑦ トラブルやけがは大小にかかわらず管理職に報告している。

◎冊子には「小学校を念頭に置いて作成しました。…中学校・高等学校・幼稚園・特別支援学校で使用する際は、本シートを参考に適宜修正してください。」と書いてあったことを付記しておきます。

もっと「授業づくり」や「校内支援体制」について知りたい方は、東京コーディネーター研究会HP (<http://www7a.biglobe.ne.jp/~tc-kenkyu/>) をご覧になってください。

◎どうだったでしょうか？ チェックしていくうちに「なんだ、特別なことは言っていないじゃないか」と感じた方も多いのではないのでしょうか。よく言われることですが、「特別支援教育の中に、特別なことは何一つない」ということだと思えます。

◎4月から、さらに“みんなが安心できる学級づくり”ができていくことを楽しみにしています。

# 平成26年度 学校訪問について

平成25年度から始まった特別支援教育担当による年度当初の学校訪問ですが、平成26年度も市内の小・中学校を全校訪問し、各学校の特別支援教育の体制や、今までに巡回相談を利用したお子さんの経過を伺いたと思います。

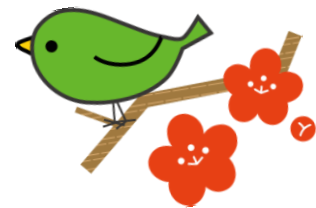
管理職の先生のほか、特別支援教育コーディネーターなどの先生に同席していただくと、よりお子さんの詳しい情報を伺うことができるので助かります。

## 訪問日程

平成26年4月上旬～5月上旬予定

## 訪問時に伺う内容

- 校内委員会について  
開催頻度、構成メンバーなど
- 支援体制について  
指導補助者の有無、指導補助者による支援方法など
- 個に応じた支援を行うための資料作成について  
実態把握カードや個別指導計画、教育支援計画の作成の有無
- 今までに巡回相談を利用したお子さんの経過観察



年度初めのお忙しい時期の訪問となりますが、御協力のほど、よろしくお願い致します。

## 1年間の編集を通して

巡回相談では、“特別な支援”ではなく“すべてのお子さんにとってあるとありがたい支援”に支えられているお子さんと出会うことがたくさんあります。

そこで、今年度のほっと通信は「教室の中の環境調整」をテーマに、「教室環境の工夫」「先生の関わりの工夫」「学級づくりのヒント」を特集いたしました。

残りの学校生活、また次年度のクラスづくりにお役立ていただければうれしいです。

1年間本当にありがとうございました。

(特別支援教育担当一同)